

<p>【技術の名称】 TU-壁ばり工法 -壁式PCa造の壁ばりとスラブの一体化工法-(改定1)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第18-23号 改1 性能証明発効日：2021年3月17日</p> <p>【取得者】 大成ユーレック株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造におけるプレキャスト製の壁ばり（以下、“PCa 壁ばり”と称する）とスラブを有効に接合することにより、壁ばりのせいをPCa部のみでなくスラブを含めたせいとして設計することを可能とする工法である。本技術で使用する壁ばりは、PCa 壁ばりとスラブの接合方法、壁ばりの曲げ補強筋の配筋方法、壁ばりのせん断補強筋の配筋方法に特徴がある。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第18-23号（2019年3月7日）

改定1：GBRC 性能証明 第18-23号 改1（2021年3月17日）

- ・設計規定の変更（壁ばりの終局せん断強度式）
- ・設計規定の追加（短スパン壁ばり、水平接合部のせん断摩擦係数）

【技術開発の趣旨】

従来、壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造のPCa 壁ばりは、スラブを含めない断面として梁耐力を算定することになっている。本技術は、PCa 壁ばり上面に設けるコッターと縦補強筋を用いることで、現場打ちコンクリートを介してPCa 壁ばりとスラブの一体化を実現している。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「TU-壁ばり工法 設計施工指針」に従って設計・施工された壁ばりは、長期荷重時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、短期荷重時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさない。またスラブとPCa部が一体化された壁ばりとして、同指針に従い求めた終局耐力以上の耐力を有する。

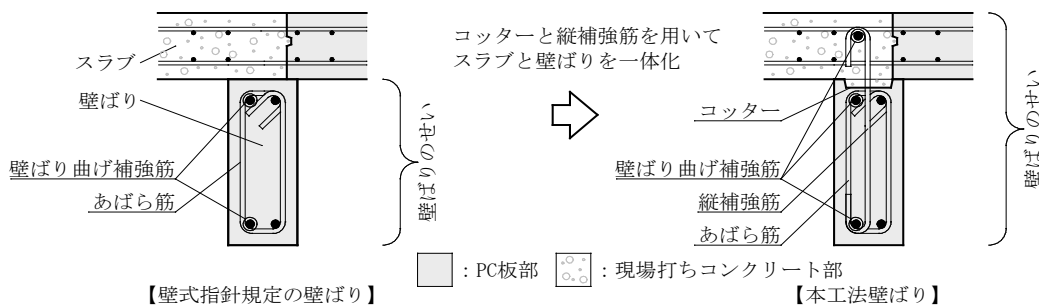


図-1 壁ばりの形状

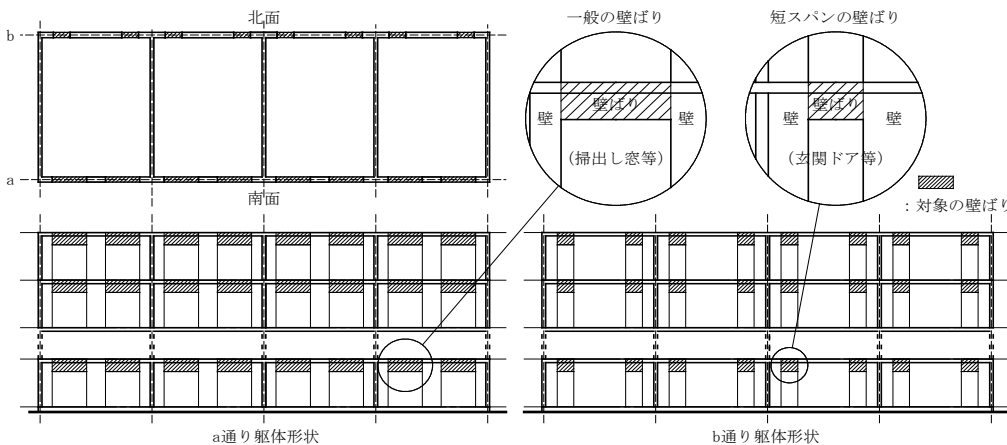


図-2 本工法壁ばりの配置例

【本技術の問合せ先】

大成ユーレック株式会社 品質保証部技術室 担当者：平松 道明 E-mail：michiaki_hiramatsu@u-lec.com
 〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-23-1 第3TOCビル TEL：03-3493-4957 FAX：03-3490-7126